

決算説明資料

2025年12月期 通期実績



2026年2月16日



倉元製作所 5216



株式会社倉元製作所
KURAMOTO

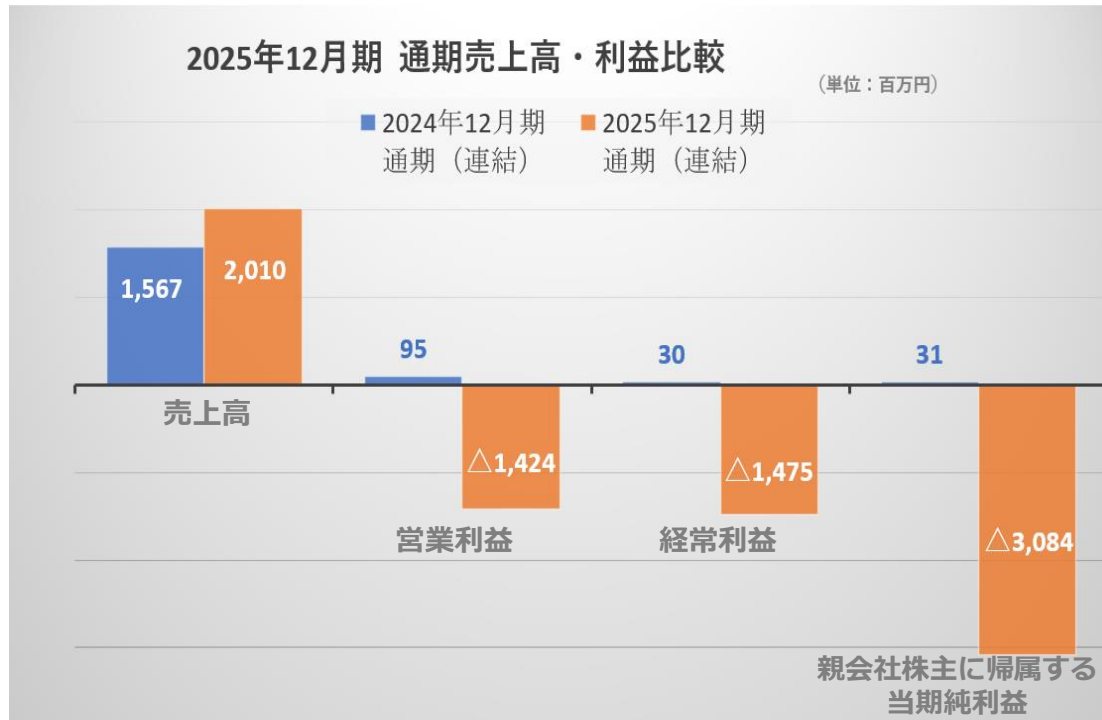
2025年12月期 通期実績（連結）業績概況

2025年12月期 通期 売上高・利益

金額単位：百万円

	2024年12月期 通期（連結）	2025年12月期 通期（連結）	前期比	前期比 増減率
売上高	1,567	2,010	443	28.3%
① 営業利益	95	△1,424	△1,519	-
② 経常利益	30	△1,475	△1,505	-
③ 親会社株主に帰属する 当期純利益	31	△3,084	△3,115	-
EBITDA *1	217	△977	△1,194	-

*1 EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）

IWR：子会社アイウイズロボティクス社
PSC：ペロブスカイト太陽電池

◆ 売上高は、前年同期比28.3%増の2,010百万円

◆ 各利益の構成は、以下の通り。

① 営業利益

- ・ 倉元製作所単体営業利益 △180百万円
- ・ IWR単体営業利益 △1百万円
- ・ PSC研究開発費 △863百万円（連結上販管費で計上）
- ・ IWR通常のれん償却 △390百万円 ※（連結上販管費で計上）
（※当期において、のれん未償却残高1,511百万円は減損損失として一括償却）
- ・ その他内部取引等調整 +10百万円（連結上で調整）

営業利益 △1,424百万円

② 経常利益

- ・ 営業外損益 △51百万円

経常利益 △1,475百万円

③ 親会社株主に帰属する当期純利益

- ・ 特別損失 △1,582百万円
- ・ IWR他のれん一括償却（減損損失） △1,511百万円
- ・ 倉元製作所 訴訟損失引当金 △71百万円
- ・ 法人税等 △26百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益 △3,084百万円

セグメント別 売上高・利益

金額単位：百万円

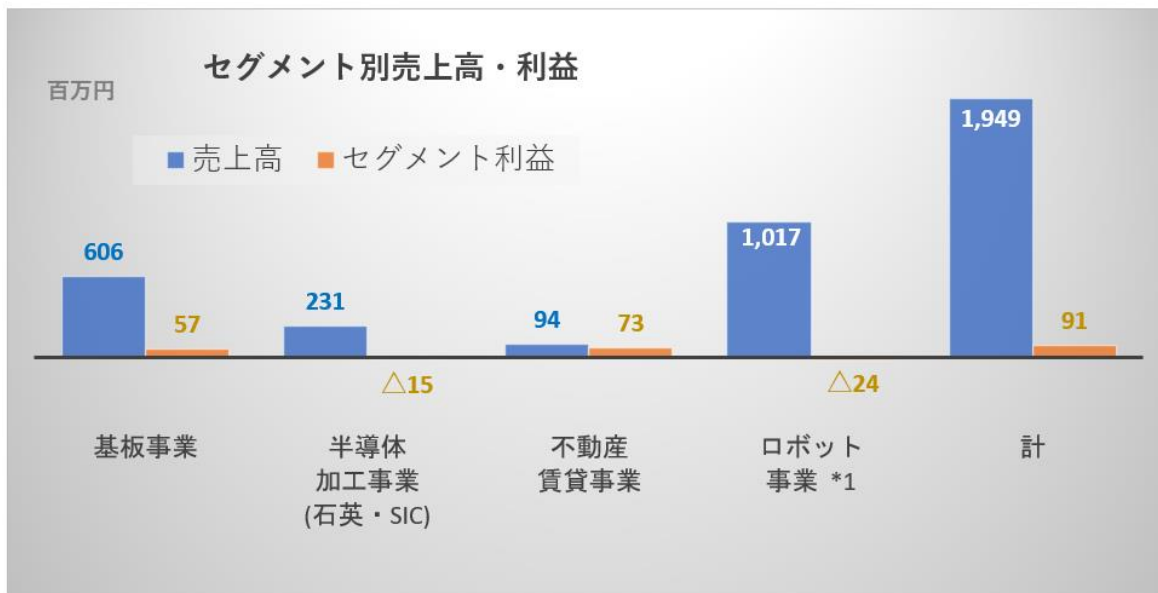
	報告セグメント					その他 *2	共通費 *3 調整額	連結財務 諸表計上額
	基板事業	半導体 加工事業 (石英・SiC)	不動産 賃貸事業	ロボット 事業 *1	計			
売上高	606	231	94	1,017	1,949	61		2,010
(構成比)	(31.1%)	(11.9%)	(4.8%)	(52.2%)	(100.0%)			
セグメント利益 *4	57	△15	73	△24	91	24	△1,540	△1,424
(売上高利益率)	(9.4%)	-(6.5%)	(77.7%)	-(2.4%)	(4.7%)			

*1 ロボット事業は、子会社で展開しており、2024年11月から子会社（アイウイズロボティクス社）を連結しております。

*2 その他は、Lark事業及び派遣事業であります。

*3 共通費は、各セグメントに帰属しない全社費用です。

*4 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



＜セグメント別 売上高＞

- ◆ 基板事業（研磨研削）の売上高は、前年の733百万円から当期は606百万円と減収。これは液晶パネル関連の受注減少によるものです。
- ◆ 半導体加工事業の売上高は、前年の342百万円から当期は231百万円と減収。これは、石英加工事業の受注の一部がキャンセルになったことによります。
- ◆ 不動産事業の売上高は、前年101百万円から当期は94百万円とほぼ同水準。
- ◆ ロボット事業は、子会社の株式会社アイウイズロボティクスの売上が通期で寄与し、売上高は1,017百万円（前期売上は390百万円）。
- ◆ 共通費△1,540には、ペロブスカイト太陽電池研究開発費863百万円、アイウイズロボティクス社の株式取得に関するのれん償却費（5年償却）390百万円※他が含まれます。
（※当期において、未償却残高1,511百万円は減損損失として一括償却）

キャッシュ・フロー

単位：百万円

	2024年12月期 (連結)	2025年12月期 (連結)
営業活動による キャッシュ・フロー	△373	△225
投資活動による キャッシュ・フロー	△433	△451
財務活動による キャッシュ・フロー	1,395	134
現金及び現金同等物の増減額（-は減少）	588	△542
現金及び現金同等物の期首残高	51	639
現金及び現金同等物の期末残高	639	97

＜キャッシュ・フロー（連結）2025年12月期＞

- ◆ 営業キャッシュ・フローは、研究開発費に計上したペロブスカイト太陽電池の設備取得費用のうち、前期支出分505百万円を計上（増加要因）したこと、売掛債権の減少にともなう現金回収額314百万円の計上（増加要因）などにより、△225百万円となり、前期△373より改善。
- ◆ 投資活動によるキャッシュ・フローは △451百万円と前期△433とほぼ同水準。主な内容は、当期は有形固定資産（ペロブスカイト太陽電池量産設備他）の取得として347百万円の支出（前期は464百万円）。なお、ペロブスカイト太陽電池設備は、連結にあたり、研究開発費として一括して当期の費用として計上。
- ◆ 財務活動によるキャッシュ・フローは、当期は、新株の発行はなく、長短借入金の純増等により134百万円の黒字。
- ◆ 現金及び現金同等物の期末残高は、前期末639百万円から97百万円に減少。

財務状況の実績推移 2023年～2025年

【貸借対照表（要約）】

単位：百万円

	2023年 12月期 単独	2024年 12月期 連結	2025年 12月期 (連結)
資産の部			
流動資産	264	1,358	544
現金預金	51	639	97
受取手形及び売掛金	109	466	151
商品、製品及び原材料	82	158	202
短期貸付金			30
その他	22	92	64
固定資産	852	3,297	1,276
有形固定資産	850	1,343	1,165
無形固定資産（のれん他）		1,939	88
投資その他の資産	1	14	22
資産合計	1,117	4,655	1,821
負債・純資産の部			
流動負債	548	683	733
支払手形及び買掛金	21	73	52
短期借入金	293	359	426
その他	233	251	254
固定負債	371	229	354
長期借入金	280	164	233
その他	91	64	121
負債合計	919	912	1,088
純資産	197	3,742	732
負債・純資産合計	1,117	4,655	1,821

＜貸借対照表（連結） 2025年12月末＞

◆ 総資産1,821百万円。主な内訳は、流動資産は、現金及び預金97百万円、受取手形及び売掛金 151百万円、棚卸資産202百万円。固定資産は、土地534百万円、建物構築物228百万円等※。

※ 前期末より計上していた建設仮勘定863百万円（ペロブスカイト太陽電池設備）、のれん1,920百万円（子会社株式及び事業取得関連）は、それぞれ研究開発費、のれん償却費及び減損損失として当期の費用として処理したため計上しておりません。

◆ 負債合計は、1,088百万円。主な内訳は、支払手形及び買掛金52百万円、短期借入金426百万円、長期借入金233百万円等※。

※長期借入金は、子会社アイウイズロボティクス社の運転資金として調達したものです。

◆ 純資産は、732百万円（前期は3,742百万円）※。

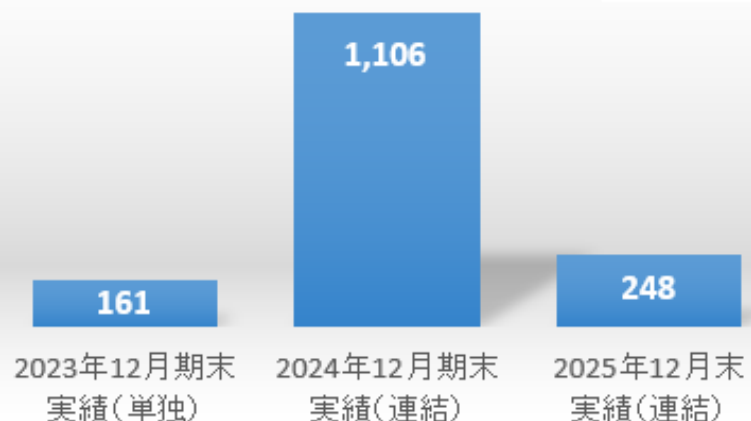
※ 純資産の減少は、2頁に記載のとおり、親会社株主に帰属する当期純利益△3,084百万円を計上したことによります。

財務状況の実績推移 2023年～2025年

6

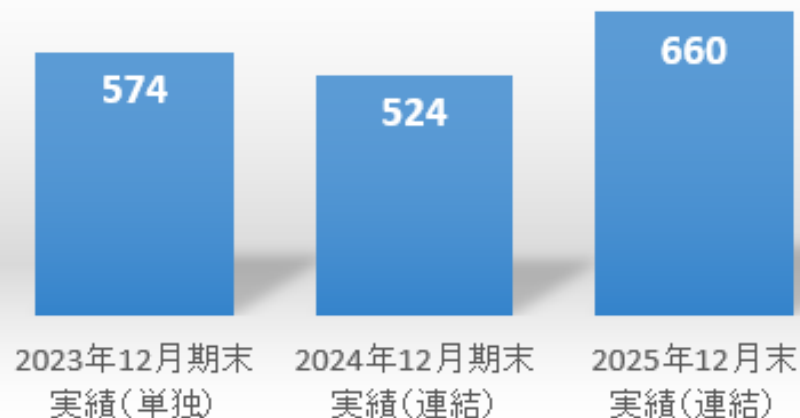
手元現預金・売掛債権残高

(単位:百万円)

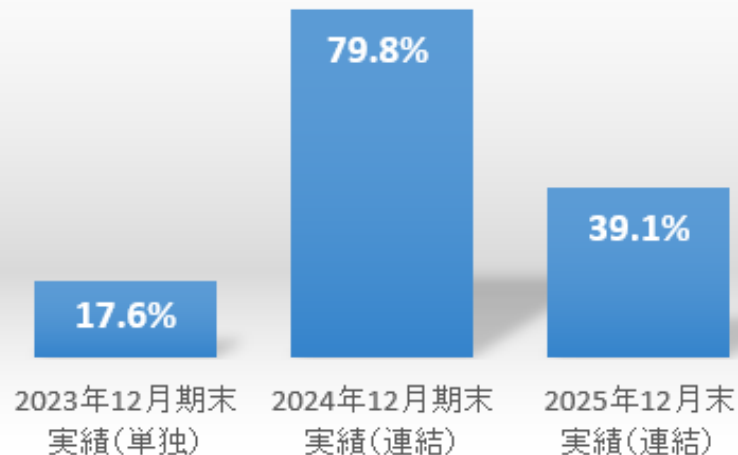


有利子負債残高

(単位:百万円)

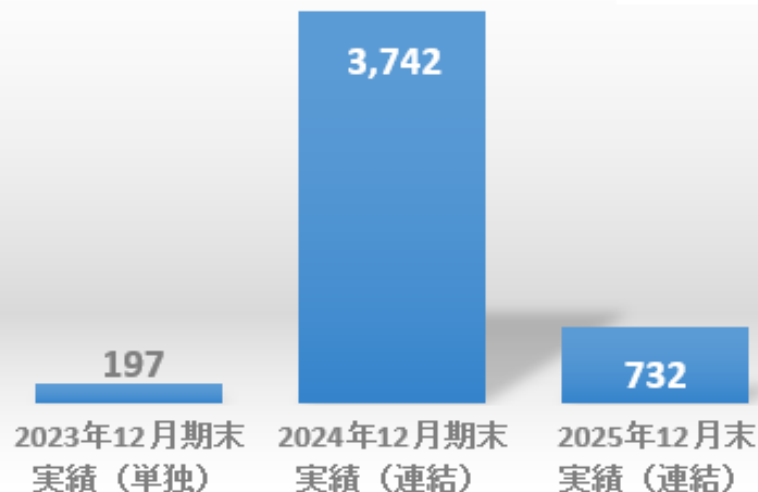


自己資本比率



純資産

(単位:百万円)



CREATING THE FUTURE

ビジネスを
通じて

半歩先行く技術と商品力で未来を創る

ビジョン
目指すところ

世界の最先端技術を取り入れ
日本のモノづくりの原点に回帰し、ヒト・モノ・カネの
良い循環を生み出し、未来に向けて進化する

組織の理念は

全社員が
情熱を持って

全社一丸となれる
組織の仕組を持つ

モノづくりの
プロ集団